

令和3年1月8日

**企業版ふるさと納税で取り組みます**  
**読書通帳で紡ぐ“地域みんなで応援！子どもの学ぶ力向上プロジェクト”**  
**～1月14日に寄附目録贈呈式を挙行～**

このたび、信金中央金庫(以下「信金中金」という。)様より、1千万円をご寄附いただけることになりました。この寄附は、信金中金創立70周年記念事業としてSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、企業版ふるさと納税を活用して行われるもので、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を各地域の信用金庫(本市の場合は、滋賀中央信用金庫(以下「滋賀中信」という。))とともに応援し、もって地域経済社会の発展に貢献することを目的とされています。

## 1 寄附目録贈呈式

- (1) 日時 令和3年1月14日(木)午後3時00分～
- (2) 場所 彦根市立図書館 第一集会室
- (3) 出席者
  - ① 寄附者 信金中金 理事・大阪支店 支店長(佐々木 英樹)
  - ② 地元信用金庫 滋賀中信 理事長(沼尾 護)、地域支援部 永井部長他2名
  - ③ 受領者 大久保市長、西嶋教育長、岸田教育部長、市立図書館 館長他2名

## 2 寄附金の使途

寄附金は、読書通帳で紡ぐ“地域みんなで応援！子どもの学ぶ力向上プロジェクト”(令和3年度～令和5年度)の事業費に使います。

なお、この寄附は、信金中金様による寄附対象事業の募集に対して、本市が応じ、審査の結果、採択されたものですので、他の事業に使用することはできません。

### <事業の趣旨>

図書館への読書通帳機導入を通じて、子どもたちが図書館や読書に関心を持ち、多くの本を読むことで、「自ら学び、考え、判断する力」が養われ、確かな学力と豊かな心が育まれることを目指します。

### <事業の実施手法>

事業の実施に当たっては、地元企業、彦根市、小学校および滋賀中信という「産・官・学・金」が連携して、持続可能な事業とします。

特に、地元信用金庫である滋賀中信様には、子ども向けセミナーの講師や、本事業へのさらなる寄附募集において、日頃から深く関わりをお持ちの地元企業との橋渡し役と

して、また本プロジェクトの市内店舗における周知等について、積極的なご支援をいただきます。

#### 〈主な事業内容〉

- ・読書通帳機※の導入(令和3年度)
- ・読書通帳を市内全小学生に配布(令和3年度) ※令和4、5年度は新1年生に配布
- ・子ども向けセミナーの開催(各年度1~2回)

#### ※ 読書通帳機

専用機に本のバーコードを読み取らせ、預金通帳型の冊子(読書通帳)に自分が借りた本の貸出日やタイトル、単価を記録し、一覧として可視化できる機器です。本市においては、読書通帳機を設置することで、子どもたちが図書館や読書に関心を持つきっかけとなり、読書の達成感や読書への意欲を高める効果が大いに見込めるものと考えています。なお、県内では守山市立図書館に続き、2例目の機器導入となる予定です。

### 3 その他

- (1) 【創立70周年記念事業】地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」について  
て  
信金中金様による「SCB NEWS RELEASE」をご覧ください。

- (2) 企業版ふるさと納税について

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みで、最大で寄附額の約9割が軽減されます。本市においては、令和2年3月に国の認定を受け、企業からの寄附を募集しており、主なプロジェクトは、「(仮称)彦根市新市民体育センター整備事業」および「新型コロナウイルスに負けるな!ひこね支え合い寄附金事業」となっています。

今回の図書館事業については、令和3年度から新規に事業を実施していくものです。